



ふるえがお



古江小 HP QR コード



令和7年7月18日

松江市立古江小学校学校だより（文責 校長：青山 巧）

明日から楽しい夏休み。今年も44日間です！

7月20日が日曜日ということもあり、今年はずっとより2日早い18日で1学期は終わります。

1学期に実施していた行事は、入学式に始まり、運動会、三瓶青少年交流の家での宿泊研修、大野小・秋鹿小との交流活動、松江ろう学校・盲学校との交流学习、お話ブリュッケン、出前授業（ヘルンさん講座、メディア学習、環境学習、健康パスポート授業、金融教育、租税教室、食に関する学習他）など滞りなく終わることができました。校外学習へも、町探検や公民館見学、浄水場見学、川の水質調査、カンドーファーム訪問、あったかスクラムクリニカルアートづくりなど、積極的に地域に出かけて、たくさんの方と交流することができました。

今年度のめざす学校像「主体的な個人、集団であれ」「進んで 楽しく 自分も 友達も」を意識した取組は、運動会の応援合戦での音が出ないというハプニングへの対応を象徴とするように、何かあった時に、どうすればいいのか自分で考えて、臨機応変に対応しようとする姿勢が多く場面で見られるようになりました。教職員もすぐに子どもたちに解決方法を与えるのではなく、子どもから出てくる言葉を、時間をかけて待つという意識が高まってきたり、職員会議においても積極的に意見を出し合ったりする姿も増えてきています。

単なる主観ではなく、今月実施した児童及び教職員へのアンケート結果を夏季休業中に教職員で評価・検証し、2学期は1学期以上に充実した学校経営、教育実践ができるように努めてまいります。

2学期は9月1日からです。月曜日スタートとなりますので、少しずつ慣らしておかないと長い長い1週間になるかもしれませんね。

自由研究の取組 ～「どうしてだろう？」を原点に～

登校途中の子どもたちとの会話の中で、夏休みの自由研究のことが話題に挙がり、「何をすればいいかわからない。」「面倒くさい。」といった声がよく聞かれます。「アリの観察をするって決めている。」と言った子に、「アリってたくさんいるけどどんな種類？」と聞くと、私が知らない名前をすらすらと答えたので頼もしく思い、「アリの何を観察するの？」と掘り下げると、「それはまだ考えていない。」と返ってきました。

「どうしてだろう？」「なぜだろう？」という疑問からスタートするものではなく、「やらなければならないもの」だから取組もうとしているのかと思うと、子どもに学習のねらいが伝わっていない、学校が伝えきれていないことが気になりました。

ミミズが歩道で大量死している様子を、「どうして今日はこんなに死んでいるのかな？」とか、「セミのぬげがらはあるのにどうして鳴き声が聞こえないのかな？」など、いつもと違う様子を疑問として捉え、原因を探っていくことは主体的な学びとなり、そこからいろいろなところに学びが広がっていきます。何かをしなければならないのではなく、生活の中で「どうしてだろう？」と思った不思議なことを原点として、「解決したい」を学びの原動力にして、観察や実験、インタビューなどで調べ、自分なりの言葉でまとめるような自由研究になるといいですね。

長野公民館長との学習

6年生の平和学習の一環として、7月3日に長野公民館長をお招きして、前庭の忠魂碑についてお話をいただきました。

何のためにこれがあるのか、どんな思いが込められているのか、こどもたちにどうしてほしいのかを伝えていただき、それをこどもたちは真剣に聴き、受け止め、思いをもったようです。

こどもたちが長野館長に書いたお礼の手紙の一部を紹介します。

○（前略）これから、忠魂碑の近くでもし遊ぶことがあったら、しっかり手を合わせて「遊ばせてください。」と言ってから遊びたいと思います。

太平洋戦争やいろいろな戦争などで死にいたってしまった方々の分も楽しんで、一日一日を大切に生きていきたいと思いました。改めて、今日は本当にありがとうございました。忠魂碑のことがたくさん知れてよかったです。

○（前略）「里の秋」という歌は初めて聞いたけれど、館長さんの歌い方もすごくて、意味がよく伝わりました。改めて、今日は貴重な体験ありがとうございました。

○（前略）11月の修学旅行と合わせて、忠魂碑の学習を思い出しながら、広島へ学習に行こうと思います。総合的な学習の時間にもつなげ、家族や友達と話し合っって考えを深め合い、それを下級生やもっと下の子にもつなげたいです。（後略）

○（前略）長野館長さん、これからも公民館のことをがんばってください。この忠魂碑はぼくたちに任せてください！

○（前略）もう長野館長もご高齢なので、この忠魂碑について話されるのは大変だと思います。なので、長野館長さんに教えてもらったことを、ぼくたちが大人になった時に、松江市の学校の人に伝え、戦争のおそろしさや命の大切さを他の人に知ってもらいたいと思いました。

こどもたちが感想や感謝を伝えるだけでなく、自分たちができることを考え、行動しようとする姿勢を頼もしく思います。

夏休み中の学校

児童がいなくても教職員は、8:15～16:45が勤務時間です。電話対応もこの時間に變更させていただきます。1学期の対応時間と異なりますのでご注意ください。

教職員は、授業日には確保が難しい長時間の校内研修を実施したり、参加しにくい校外での各種研修に参加したりします。また、2学期に向けた授業研究や教材準備を行うなど、個人で研鑽に努めると共に、連続休暇を積極的に取得し、それぞれの地域での活動やリフレッシュをすることとしています。ご理解ください。

あわせて、土日・祝日及び8/12～15の期間は学校不在となります。ご承知おき下さい。

夏休みの暮らしについて各学級や地区児童会で指導をし、家庭に持ち帰らせています。ここには、松江市内小中学校及び義務教育学校で共通している約束もあります。安全で楽しい夏休みにするためにも、必ずご家庭でお子さんと一緒にお話をさせていただきますようお願いいたします。

夏休みは生活経験値が少ないこどもたちが、多様な経験・体験を積み重ねる絶好の機会です。お忙しいこととは思いますが、保護者の方の見守りの上で、こどもたちがたくさん経験を積み上げていけるようお願いいたします。

私事ですが、この夏休みに人生の目標のひとつであった47都道府県宿泊コンプリートが達成できる見込みとなりました。最後に残ったのはどこだと思いませんか？ それは群馬県と静岡県です。いずれも立ち寄り、通過したりしたことはありますが、宿泊はしていません。今回は泊まるのが目的の強行日程で、リフレッシュにはならないかもしれませんが、47都道府県制覇という達成感はあるかと思っています。